

平成30年東京鳥取県人会「総会と懇親の集い」は10月8日(月・祝)11時半より都市センターホテルで開催



①井上邦信:昭和15年生まれ、満年齢の喜寿だから新人としては年配。東伯郡鋤(現在は倉吉市)の出身で、倉吉東高校卒。吉田副会



②上野茂美:倉吉駅の近くで育った。5月のガイナレの応援に出かけたが、サッカレーの観戦も試合後の反省会も楽しく、県人会に参加したいと思った。故郷の風景はきわめてよく、人は温かい、食べ物もおいしい。故郷への想いが募ってきた。この良さを広げていきたい。



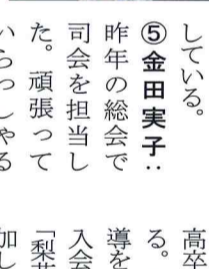
③田代朋彦:倉吉東高校卒の建築士で、個人事務所経営。東京芸大に社会貢献プロジェクトが立ち上がり、2年前からそのためのイベント担当の東京芸大助手をも務めている。趣味で、バイオリンを弾きながら、昨年の県人会におけるチェロ奏者同協会は、300人ほど。目指すのは、みんなの幸せ、儲けたいとは考えていない。ことにプラジルの方を紹介している。



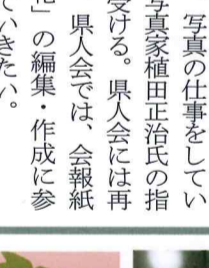
④金田実子:昨年の総会で司会を担当した。頑張っ



⑤丸川学:昭和63年生まれ、境高卒。埼玉在住。会社勤務の傍ら輸出業をやっていたが、最近独立して輸出業をやっていくこととした。先輩の方々に指導をお願いしたい。



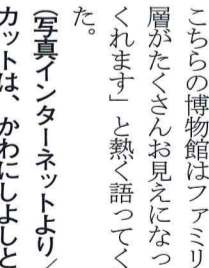
⑥三宅大地:昭和63年生まれ。鳥取商業卒で、鳥商が甲子園に出た時のメンバー。もう30歳と考えていたが、この場に参加して若い人と安心した。勝部さんに会って県人会の存在を知ることが出来、うれしい。中国やオーストラリアとかかわりを持ち輸出輸入をやっている。



⑦藤谷洋平:日野郡江府町出身。米子西卒。静岡県の衆議院議員の事務所に勤務している。この会への入会はインターネットで調べて決めた。



⑧松本薫:昭和31年生まれ。同姓同名(注:米子在住の女流作家の松本薫さん)の方がおられ、稲田屋で会を開いたところ、お店の方に「サインを」と言われた。金融機関に勤務しているが近く定年となる。ゴルフとグルメが楽しみ。芸術文化を不得手としています。

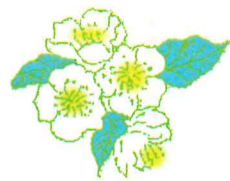


⑨中村仁史:米子生まれ。境高卒。写真の仕事をしている。写真家植田正治氏の指導を受ける。県人会には再入会。県人会では、会報紙「梨花」の編集・作成に参加していきたい。



東京鳥取県人会恒例行事の一つ「新入会員歓迎会」は、去る平成30年6月18日(月)18:00PMより、とっとり・おかもやま新橋館2階のももてなし家で執り行われた。今回、10名の新入会員が出席された。小川浩史常任幹事の第一声を皮切りに足立盛二郎会長が歓迎の言葉を述べ(上写真)、谷長正彦事務局次長より出席者役員並びに幹事の紹介を行い、次いで3部会長より事業活動の概略が説明されて懇親の宴となった。10名の新入会員を迎えての当日の出席者は、会長以下3人の副会長、5人の常任幹事、7人の幹事、事務局員3名の28人であった。以下新入会員の自己紹介と横顔を二紹介する。(談話まとめ/小泉典子・写真/遠藤隆司)

「新入会員歓迎会」は6月18日(月)に挙行



梨花

題字/故西尾邑次 元名誉会員揮毫

第58号
2018年9月5日発行
東京鳥取県人会事務局
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-6-3
都道府県会館10F
電話 03(5212)9178
FAX 03(5212)9079
発行責任者/足立盛二郎
編集/県人会広報部会
http://www.pref.tottori.lg.jp/tokyokenjin

円形劇場 くらよしフィギュアミュージアム が市の新名所に



まんが王国鳥取にまた一つのシンボルスポットが誕生した。去る4月7日オープンした倉吉市の円形劇場フィギュア博物館である。この建物は旧明倫小学校の円形校舎で、築60年以上が経ち、一時取り壊しが決定していたが、市民の保存運動とフィギュア製作会社海洋堂の協力もあって、耐震工事を経て、フィギュア博物館へと生まれ変わったのである。現在では日本最古の円形校舎の名残を留めている遺産建築となり、古い校舎の面影を再現しており、フィギュアを覗ながら建物そのものを観る興味もつけない博物館となっている。この建物の中にまんがアニメの登場人物や怪獣などのフィギュアが2000点も展示されているのだから子どもたちはもとより、かつてのコミック世代の大人たちにとってもたまらない魅力スポットには違いない。平成26年、たまたまフィギュアの製造大手グッドスマイルカンパニーが工場を進出させてきたことも拍車をかけ、(株)円形劇場の代表稲嶋正彦さん(62歳)らのフィギュア博物館建設推進運動が実現したわけである。偶然だが本紙ライター加藤雅子さんは、この校舎で学んだことがあり、編集会議でこの話が出ると、思わず円形校舎の歌を口ずさんでくれた。「丸い校舎の階段は、赤いタイルを敷きつめた、おとぎの国の御殿です」と。屋上からの眺望は市街地から大山などの山並が心を和ませてくれること請けあいだ。当の代表稲嶋さんに話を求めると「市の活性化に繋がったことは間違いありません。赤瓦造りの旧市街地は年配者の観光客が多いようですが、こちらの博物館はファミリー層がたくさんお見えになってくれます」と熱く語ってくれた。

(写真)インターネットより/カットは、かわにしよしとさんが描く稲嶋さん/文・遠藤隆司

土木の最新をカタチにする
土木工法/土木資材販売
岡三リビング株式会社
会長 梅林 文夫 (日南町出身)
本社 〒108-0075 東京都港区港南1-8-27
山陰営業所 〒683-0067 鳥取県米子市東町171
TEL 0859-23-1820
URL: http://www.okasanlivic.co.jp/

●こだわり抜いた素材と製法で、お客さまに大好評!
セブンイレブン「金の食パン、こしあんぱん、ダブルクリームパン」
株式会社 武蔵野フーズ
代表取締役会長 安田 定明
〒351-0034 埼玉県朝霞市西原1-1-1 TEL 048-487-1111 FAX 048-487-6023

稲田屋
http://inataya.co.jp
清酒「稲田姫」に出会える和食居酒屋
アンテナショップ
とっとり・おかもやま新橋館
www.torioka.com

地域の夢、お客様の夢をかなえる
創造的なベストバンク
山陰合同銀行 東京支店
支店長 塚本 正志
〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町15-6
TEL:03-3669-0211 FAX:03-3639-5250
URL:http://www.gogin.co.jp

大山開山千三百年祭記念東京講演会

講師 大山寺観證院 住職 清水豪賢

去る6月21日(土)とっとり・おかやま新橋館 2階ももてなし家において、50名の参加者の前 で清水豪賢氏(写真左)の講演が行われました。 その要旨は以下の通りです。



大山をおおやまと言われると愕然とする

● 大山をおおやまと言われると愕然とするんです。関東の人たちは名山大山(おおよま)があるせいだと思いません。が、1300年祭を契機に日本中に、いえ世界中に「だいせん」の呼称を発信したいと思えます。

● 大山が地蔵信仰発祥の地であることも特徴の一つです。大山の地では、日本最大の牛馬市が昭和のはじめ頃まで行われていました。それが、5月24日の春祭りや10月24日の地蔵縁日祭りに繋がったのです。これらの祭りを通して、2016年に大山は文化庁から日本遺産の山として認定されました。

● 大山の開山が718年といえますのは奈良時代です。金蓮上人という方が地蔵菩薩を祭って開かれまして。大自然を崇める山岳信仰とあいまって神仏習合の神として人々から拝まれてきました。

● 現在、僧房と呼ばれるのは4か寺しかありませんが、当時は160の僧房があり、その伽藍跡が今でも発掘されています。鎌倉時代の火鉢とか陶磁器など出てきて、かなり裕福な生活をしていました。

戦国時代には、尼子、毛利一族と結びつき、僧兵3千人が大山寺を守っていたと言われます。

江戸寛政年間には43房が有りました。

● 大山寺に広島から来たぐせい坊というお坊さんがいました。



大山で修業をした後、下野の国へ行ってこいと言われます。下野で来る日も来る日も田植えの手伝いをいたします。生きた地蔵さんと呼ばれ、やがて、お米を貰って大山寺に戻ってきます。お米を村人に分け与えるのですが、いくら分けてもお米が減りません。そのうち、お米をお寺に埋めますと、そこに一本のななかまどの木が生えてきました。ななかまどの木は固い木で、7回竈にくべても燃えません。ヨメイビリの木とも言われます。これが、大山のななかまど伝説と言われる話ですが、このななかまどの木に赤い実がつくと冬がやってくる今でも信じられています。

● 大山に原生林を作っているブナの木の話をいたします。ブナは樺と漢字で書いて、用の無い木、つまり材木には使えないという木なのですが、水をたつぷりたくわえている木であるというところは、大変に必用のある木なのです。米子市街で水の枯れたことはございませぬし、サントリーさんが水を生産しているのも大山のブナ原生林のおかげなのです。それと、人々が大山の原生林の中に入って心を静

め体を整えてもらう。これぞ正しく調うということ。伯耆の国大山を表すシンボルマークこそ、調うなのです。

音とか色とか絵で調和してブナの森が育んだ水が田畑を潤わせてくれ、海に流れ出て魚介類を育ててくれるというわけ。すべてに恵みを与えてくれるというのが大山さんのおかげです。

生きとし生ける者すべてを救ってくださる、これぞ大自然の大山らしさではないでしょうか。

(静聴ありがとうございました)

このあと、(だいせんもりあがールズ)の隊長神庭伸子さん(写真左)から大山祭り各種のイベントPRがあつて懇親の会へと引きつがれました。



はがき絵 中谷倭文乃(米子市)
まぼろしの魚と呼ばれるのどぐろです。地元にいる妹が大好きな魚を送ってくれます。元気が出ます。

鳥取和牛ばなし

鳥取和牛が日本一

近頃、牛肉といえば鳥取和牛の評判が良い。プロシエフたちからの評価も高い。その理由を鳥取県農工労働部・農林水産部市場開拓局が出している「鳥取和牛NEWS」を見て判った。



5年に1度行なわれる「全国和牛能力共進会」というのがあつて、2017年の9月に宮城県



で牛たちはすくすくと成長する。肉質の良い滋味なオレイン酸(不飽和脂肪酸)はそうした環境から生まれたのである。

販路開拓の腕を見た

そんな「鳥取和牛」ばなしを書こうとしていた矢先、事務局を訪ねたら、担当の山本真紀さんから販路開拓マネージャーの鈴木幸吉さん(写真左)を紹介された。

やはり大山の恵み

その昔、日本一の牛馬市といたのが大山の麓で開かれていた。その伝統は今でも鳥取和牛の育成者たちに受け継がれているといえる。

日本海の名峰「大山」などの山々に囲まれ、豊かな自然の恵みに溢れる鳥取県。大自然の澄んだ空気とミネラルを豊富に含んだ伏流水に育まれ



「よしやばJR大塚駅から徒歩3分位のところにあつた。鳥取の部分では、県内の各種日本酒や北条ワイン、大地ビールなどを揃え、いかりンク揚げなどをつまみに一杯。飛行機待つ時間にはもつてこいで。

河崎妙子さんが鳥取空港内にレストランをオープン

福井宏一郎

7月28日に、鳥取空港は国内ターミナル国際ターミナルが合体した華やかなスペースへと生まれ変わりました。その一角に「エスニック&鳥取」がテーマのレストラン「陶庵」を開店した河崎妙子さん。

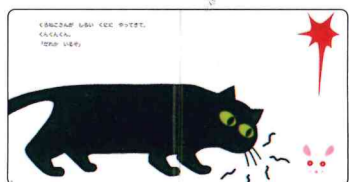
エスニックの部分では、懐かしいかき氷シリーズの中に「台湾風ふわとろ(マンゴー)

かき氷」があります。開店3日目にさっそく試してみました。トロピカルな涼しさが体をめぐるります。

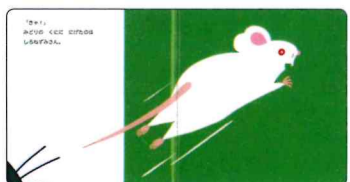


今回この「陶庵」の開店で、ますます古里とのかかわりが強くなりそうです。(写真は筆者右と、中央に河崎さん)

かわにしさんの初めての絵本



▲ 8~9頁の見開きの絵



▲ 10~11頁の見開きの絵

● 本紙連載まんがでお馴染みのかわにしよしとさんが、さる5月絵本を上梓されました。「いろいろくにのいろいろさん」というタイトルの連続的絵本で、こどもはもちろんおとなも楽しめる絵本です。黒ねこに始まって、ねずみ、かまきり、風船へとゴツンゴ、お月さまもニッコリ。かわにしさんが少年時代に体験したであろうことが、象徴的に、かわにし調のタッチで色彩豊かに面白く絵本化されています。

(遠藤隆司/発行所 鈴木出版 版型ヨコ 210mm×タテ220mm 定価370円・本体343円)